平成18年度 食品安全委員会 緊急時対応訓練(案)について

平成18年8月21日(月)
食品安全委員会事務局

1. 平成18年度緊急時対応訓練(案)について

目的

- 食品安全委員及び事務局員が緊急事態及び緊急時対応の共通認識を持つ。
- 対応力や判断能力を向上させる。
- 緊急時対応マニュアルの適確性を確認する。
- 緊急時対応手順を確認する。
- 定められた対応を迅速かつ確実に実施する。

訓練形式

訓練形式	特徴
研修会	座学を中心として、基礎的知識及び専門知識の習得を図る。さらに組織が抱える未解決の課題等についても議論を深めておく。
机上シミュレーション	実際に体を動かすものではなく、イメージ力の向上や、判断能力の向上を目的とする場合に適した訓練。また、空間的あるいは時間的な制約がないため、例えば災害の長期化に関する課題の抽出等、実際の訓練では実施が困難な事項の検討にも適している。
シナリオ提示型訓練	対応手順や連携の確認に主眼をおくため、事前に訓練シナリオを提示する訓練。実践的な対応力の向上には向かない。
シナリオ非提示型訓練	訓練シナリオを事前に提示しない形式の訓練で、完全な抜き打ち訓練ではないが、訓練参加者(プレーヤー)は訓練中にコントローラーから付与される情報(状況)に基づき自ら判断し行動する。実践的な対応力を検証するのに適している。
抜き打ち訓練	訓練開始のタイミングでさえも事前に参加者に伝えない訓練。シナリオ非提示型訓練よりもより現実に近い状況設定となるが、訓練による混乱防止の観点から、対象範囲は限定される。

今年度の訓練について

回	テーマ(目的)例	種類	内容例
第1回	緊急事態についての展開イメージの共有	机上シミュレーション	関係者が一堂に会し、緊急事態を設定の上、時系列に沿って、想定される事態の進展、初動体制の段取り等、マニュアルの分掌に則り話し合う。
第2回	緊急時マニュアルの実効性検証	シナリオ非提示型訓練	訓練対象者に緊急事態に関する情報を適宜付与。訓練対象者は、マニュアルに従いつつ、臨機応変に判断・行動する。
第3回	緊急時広報に関する対応能力の向上	個別要素訓練	訓練対象者が、専門家レクチャー受講、広報文案の作成、記者会見の模擬実施等を行う。

緊急事態

対象となる緊急事態等の種類	例示
被害が大規模又は広域で、食品安全委員会とリスク管理機関の相互間において調整を要する場合	・大規模食中毒(O157等)
科学的知見が十分ではないことにより被害が生じる、または生じるおそれがある場合	・急性脳症多発事例
上記、には該当しないが、社会的反響等を勘案し、緊急の対応が必要な場合	(ダイオキシン類)

2. 第1回訓練素案について ～机上シミュレーション～

訓練の目標

- 予め設定した緊急事態が「どう進展していきそうか」「関係各所はいつどのような対応を行うか」について話し合うことにより、
食品安全委員会が対応すべき緊急事態についての展開イメージを共有する
シナリオ非提示型訓練に向けた課題を抽出する

机上シミュレーションとは

- 実際に体を動かすものではなく、イメージ力の向上や、判断能力の向上を目的とする場合に適した訓練。
- 司会進行役が議題を付与し、その議題に沿って対応を検討する。
- 緊急時に入手が予想される情報(通報等)は、用意しておき、司会進行役の指示及び訓練参加者からの要請に添って情報を付与する。

緊急事態の設定

対象となる緊急事態等の種類	初期設定
被害が大規模又は広域で、食品安全委員会とリスク管理機関の相互間において調整を要する場合	<ul style="list-style-type: none"> ・A市の多くの小学校で下痢100人規模の集団食中毒が発生 ・翌日3名が死亡 ・患者児童からO157を検出 (堺市学童集団下痢症事件がベース)
科学的知見が十分ではないことにより被害が生じる、または生じるおそれがある場合	<ul style="list-style-type: none"> ・全国で小学生を中心に消化器系の疾患に似た症状が散発
上記、には該当しないが、社会的反響等を勘案し、緊急の対応が必要な場合	<ul style="list-style-type: none"> ・A国で、鶏、卵及び飼料から高濃度のダイオキシンが検出されたことが判明。 ・飼料の汚染は少なくとも半年前からで、A国からの鶏肉、鶏卵の輸入があり、すでに日本国内で消費されていることが報道される。 ・後に家禽だけでなく、豚、牛への影響も判明 (ベルギー産鶏肉等のPCB汚染事故がベース)

進行スケジュールと内容

時間	テーマ	内容
30分	オリエンテーション	・訓練の進め方の説明 ・緊急時対応体験等のポイント提示
1時間	緊急事態への初動 対応イメージ	いくつかの想定されるトリガー情報をもとに、初動の進展イメージを検討する
1時間	緊急事態の進展・ 拡大イメージ	前段の検討を受けて、緊急事態が進展・拡大するイメージを議論するとともに、食品安全委員会の対応について議論
30分	反省会	シミュレーションを通じて作成された緊急事態のシナリオを参加者全員で再検討する。